

# 既成市街地における ウォーカブルなまちづくり

沿道の建物と路上を一体的に使うなどして街路空間を車中心から人中心に再構築し、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられる場に変える取り組みがみられつつあります。

また、コロナ禍を経験した私たちにとって、街路空間の再構築や利活用は、快適で持続可能なまちづくりに向けた大きなテーマとなっています。

そこで今回は、「アーバンストリート・デザインガイド」や「ウォーカブルシティ入門」を翻訳し、ご自身も千葉県近郊で市民・行政・専門家と協働し、実践的な研究・設計活動を展開されている松浦先生をお招きし、既成市街地におけるウォーカブルなまちづくりについてご講演いただきます。

また、後半には講師と聴講者を交えたディスカッションを行い、当地域におけるこれからの都市計画のあり方について、一緒に考えてまいります。

開催日時: 令和5年5月26日(金)

14:00~16:30

定員: 80名

会場: 名古屋栄ビルディング12階  
特別会議室 (詳しくは裏面参照)

講師: 松浦 健治郎 准教授

千葉大学 大学院 工学研究院 建築学コース  
博士(工学)・一級建築士

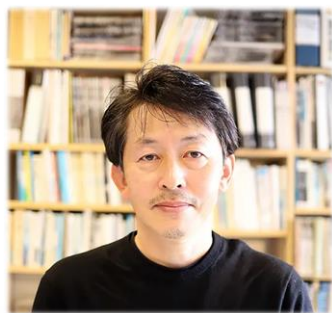


アーバンストリート・デザインガイド  
～歩行者中心の街路設計マニュアル

全米都市交通担当者協会【著】、松浦健治郎+千葉大学都市計画松浦研究室【訳】(2021/09)  
¥3,960(税込)/学芸出版社

ウォーカブルシティ入門  
—10のステップでつくる  
歩きたくなるまちなか

ジェフ・スペック【著】、松浦 健治郎  
【監訳】(2022/09)  
¥2,750(税込)/学芸出版社



1971年岐阜県高山市生まれ。1994年早稲田大学理工学部建築学科卒業、1996年早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻博士前期課程修了。(株)小沢明建築研究室所員、(財)日本都市センター研究員、三重大学助教などを経て現職。地方都市における地域資源を活用したまちづくり・都市デザイン・建築設計に関わる実践・研究活動を進めている。共著書に『コンパクトシティの拠点づくり』(2020年、学芸出版社)、『まちづくり教書』(2017年、鹿島出版会)など、訳書に『アーバンストリート・デザインガイド』(2021年、学芸出版社)、『ウォーカブルシティ入門: 10のステップでつくる歩きたくなるまちなか』(2022年、学芸出版社)がある。



## ◆プログラム

14:00	<b>開会</b>
14:05～15:20	<b>基調講演</b> 「既成市街地におけるウォーカブルなまちづくり」 講師：松浦 健治郎 准教授 千葉大学 大学院 工学研究院 建築学コース / 一級建築士
15:20～15:30	<b>休憩</b>
15:30～16:15	<b>ディスカッション</b> 参加者の皆さんで松浦先生のご講演に対する質疑応答、それぞれのまちで抱えている都市計画・既成市街地の課題やあり方について、ざっくばらんに意見交換を行います。
16:15～16:25	<b>まとめ</b> 松浦先生から、ディスカッションの成果に対するコメントや今後のまちづくりに向けたアドバイスなどをまとめていただきます。
16:30	<b>閉会予定</b>

## ◆申込方法

下記の申し込み必要事項を含めて、

**5月12日(金)17:00まで** にE-mailでお申し込み下さい。

- 定員になり次第、受付を終了させていただきます。
- 一団体あたりの申込者数に制限はありませんが、申込状況により人数調整をさせていただきます場合がありますので、ご了承ください。
- 参加票は発行いたしませんので、事務局から連絡がない場合は、そのままご来場ください。
- ご記入いただいた個人情報、本研究会に関する運営・情報提供についてのみ使用いたします。

### 必須事項

- ①お名前※
  - ②会社名・団体名及び所属部署※
  - ③役職名
  - ④同席(一緒に聴講する方)人数【おひとりの場合は記入不要】
  - ⑤メールアドレス※
  - ⑥電話番号(ご連絡先)※
- ※:必須項目

申し込みE-mail送付先：[kawakita@chimonken.or.jp](mailto:kawakita@chimonken.or.jp)

## ◆会場アクセス

【住所】

〒461-0008

名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビルディング 12階

Tel 052-961-1507

【市営地下鉄東山線・名城線】栄駅

【名鉄瀬戸線】栄町駅

5番出口より徒歩約1分



問い合わせ先

tel:052-232-0022

一般社団法人 地域問題研究所 河北